

# 文学文芸部門

十河 博

さぬき市文化協会では、支部活動とは別に部門活動にも重点をおき、活動しています。

文学文芸部門には、俳句に七団体、短歌に五団体、川柳に一団体、古典に一団体が所属しています。各団体とも、それぞれの地域で発展して来ました。団体間では、互いに交流を深め、より高い目標に向かって研鑽に励んでいます。

本年度の事業は次のとおりです。

- (一) さぬき市民文芸大会の開催  
日時、平成十七年二月十三日  
(日) 十時より。場所、長尾公民館大ホール。作品は、俳句・短歌・川柳で平成十六年十二月二十日で募集を締め切りました。審査は、市内の各団体の指導者が行います。優秀作品は大会当日に表彰し、市公報に発表します。なお、大会には、徳島文理大学の先生による文学講演を予定しています。
- (二) 吟行ポストの設置



▲昨年行われた文芸大会の講演会

旧長尾文化協会が実施していた俳句ポストを全市に広げ、俳句のほか短歌と川柳も投句・投首してもらおう事にしました。設置場所は、大窪寺・へんろ交流サロン・亀鶴公園・志度寺・大串自然公園・門入の郷公園・み

ろく自然公園・琴林公園の八ヶ所です。ちなみに昨年度の俳句ポストには、全国の十九都府県より百三十余句の投句がありました。市民の皆様の投函を歓迎しています。ポストは年一回開き、審査して、入選作品は市報に発表し、賞品を進呈します。

## (三) 文学作品展の開催

平成十七年七月五日より七月十七日まで「二十一世紀館さんがわ」で開催します。各団体会員の短歌・川柳・俳句の色紙・短冊を展示します。是非ご覧下さいませようお待ちしております。以上が本年度事業ですが、これ以外にも各団体それぞれが、吟行などを実施しています。

最後に、我々文学文芸部門としては、まことに残念な事があります。それはさぬき市報より文芸紙面が削除された事であります。理由はおさまりの市の財政事情であります。我々文学愛好者としてはさみしいかぎりです。文学は心の衣であり、食であると思います。今後文芸紙



▲昨年の文芸大会

面の復活に文学文芸部門として、市当局へ要望してまいりますので、市民の皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

## 俳句の部

### 「みどり句会」の活動

佐々木桂一

平成十六年の「みどり句会」は、発表の場を全国的に拡げること目標に、津田将也先生を中心として、積極的に研鑽に努め、その成果をあらゆる機会を揃えて発表して来た。

その活動と成果の一端を披露させて頂く。

- ◎津田先生 俳句八月号「俳人スポットライト」に七句発表。
- ◎佐々木桂一・高橋昇 さぬき市民文芸大会入賞。
- ◎日下輝雄 NHKテレビBS 2「俳句王国」に出演。
- ◎成瀬雄一 角川「俳句」八月号他に入選。
- ◎長田百合江・真鍋恵子・他

角川「俳句年鑑」に作品発表。  
◎濱田有・宮本アイ・他 伊藤園俳句大賞入賞・等  
この成果を更に実りあるものにするべく研鑽に励みたい。

## 川柳の部

### 玉浦川柳会の歩み

江崎ヨシエ

玉浦川柳会の誕生から三十有余年、会員の出入りはあったが柳友の出資で旧師の句碑二基、柳友の合同句碑一基は真珠島の観光資源として貴重な存在。

今までに、句集二、月間誌三九〇号が編集されて、柳友に愛読されると信じている。また県下の各種大会にも参加はもろん、新聞紙上にも投句、研鑽を積んできた。

玉浦川柳会は発足以来、良き師に恵まれ、「川柳は人なり」を合いことばに、一句一句に託した人生観がたくましく読み込まれ楽しい。十七文字に表現できる魅力を愛し、作句に励む。

また、玉浦川柳会では、山本芳伸先生の威徳を偲び、年間を通じて多くの秀句を出された者に賞状とトロフィーを贈り、その労に報いる。それが会員激励の方策であると信じ、今年で二十回を数える。私達は和気藹々、毎月第一土曜日の句会を生きがい

に精進している。

## 短歌の部

長尾短歌会 遠山よしゑ

長尾短歌会は、第一水曜日と第三水曜日の二回勉強会をもっている。第三水曜日は初心者勉強会、四首ずつ作品を持ち寄って、遠山を中心とし相互に批評し合う会で、皆それぞれに自由な遠慮ない発言をしながら、作品の鑑賞力を深めてゆく会である。その後、二首を選出して、第一水曜の勉強会に提出する。

この日の指導をして下さるのは、香川県海流誌の顧問であられる竹内邦雄先生である。

昭和五十三年長尾短歌会発足と同時に、毎月欠かさずことなく丸亀から来て下さっている。

先生は、京都大学の哲学科を出られているので人間としてのあり方にも厳しいご所見をおもちで、短歌以外に人の道をも学ばせていただいている。

作品はそれぞれの結社誌への提出、県の短歌海流誌に毎月提出して、お互に和気ある雰囲気のもとに勉強会を続けて楽しく作品作りをしているので、大勢の方のご参加を待っています。

